

平成23年6月7日総合計画審議会 委員意見・質問への対応について

＜平成23年8月16日付総合計画審議会委員送付資料から抜粋＞

平成23年12月13日

徳島県総合計画審議会 宝の島・とくしま創造部会

平成23年6月7日総合計画審議会 委員意見・質問への対応について
＜平成23年8月16日付総合計画審議会委員送付資料から抜粋＞

御意見を踏まえ、今後の計画推進の参考とさせていただきもの

H23.8.16日時点

	該当ページ	意見要旨	対応内容	担当部局
1	下・P83	小水力発電について、生物への影響が心配。水路を作ると、悪影響が考えられる。指導の際には、「生態系への配慮」をお願いしたい。	新エネルギーの導入には、環境への負荷を回避・低減することを考慮することとしており、小水力発電設備の設置には生態系への負担回避・低減に十分配慮してまいります。	県民環境部
2	下・P121	「中国語・韓国語の学習」について、数時間勉強だけでは子どもたちの身にはつかない。実際に話す時間が必要。例えば、国外から教育旅行を受け入れた際、必ず外国語を使うとか、ICTを駆使してスカイプを使うとか。コミュニケーションすることによって学習が活きてくる。「語学を学ぶのなら徳島に」といわれるような県になってほしい。	中国や韓国など海外の学校と日常的な交流を推進するため、ICTを活用した交流モデル校を5校指定し、外国語の使用機会の拡大に向けて取り組みます。また、中国や韓国などから教育旅行を誘致し、同世代の子どもと直接交流する機会を設けることで、学習効果を高め、国際感覚の醸成に努めます。	教育委員会
3	下・P79	6月2日徳島新聞に、慢性疾患による死亡率ワースト1の病気が報道された。糖尿病については有名だが、「慢性閉塞性肺疾患」については、あまり知られていない。この病気にならないために一番大事なのは「禁煙」である。「禁煙」については計画の中に示されていない。近いものは、P222「健康とくしま応援団」であるが、「禁煙」をプランの中に入れてはどうか。	慢性疾患の予防等については、個人の健康づくりが非常に重要です。「健康とくしま応援団」については、食環境づくりやたばこ対策を通じて、個人の健康づくりをサポートするための環境整備に取り組む事業所を登録するものであり、この事業所数を増加することを目標として掲げることで、県民総ぐるみの「健康とくしま」運動を推進することとしています。	保健福祉部
4	下・P66	「木造住宅の耐震診断・耐震改修への支援」について、「県民ニーズ100%対応」という数値目標だが、100%を本当に達成できるのか。また、リフォームする時、耐熱性能の厳格な基準を設ける必要があるのではないか。	・「木造住宅の耐震化」の支援については、市町村と連携しながら県民のニーズに100%対応するというスタンスで促進してまいります。 ・簡易な耐震化と併せて実施するリフォームについては、施主の予算の範囲で実施されるものであるため、耐震性の向上を図ることを主目的として支援してまいります。	県土整備部

平成23年6月7日総合計画審議会 委員意見・質問への対応について
 <平成23年8月16日付総合計画審議会委員送付資料から抜粋>

御意見を踏まえ、今後の計画推進の参考とさせていただくもの

H23.8.16日時点

	該当ページ	意見要旨	対応内容	担当部局
5	下・P82, P83	「温室効果ガス」について、低炭素社会において、自然エネルギーは非常に有効ではないか。潮力発電など、県の方針として研究してはどうか。	本県は、日照時間が長く、天候が良いこと、小さい急流の河川が多いこと、森林面積は県土の75%を占めることから、太陽光、風力、小水力などの自然エネルギーの導入の取組みを進めるとともに、潮力、波力の活用に向けて、国との連携を図りながら検討を進めてまいります。	県民環境部
6	下・P103	「ひとり親家庭への支援」だけでなく、多胎児が増えていることから、「多胎児に対する子育て支援」も文言として入れてはどうか。	多胎児等子育てが大きな負担となっている家庭については、まず、父親の育児への参加等の家庭内での役割の分担、次に地域における子育て家庭への支援の促進、また、子育て拠点施設の充実等、社会全体での子育て支援を進める中で対応したいと考えています。	保健福祉部
7	下・P146	「とくしまマラソン」について、いろいろな意見があろうかと思うが、始めて以来、県民が走るようになった。糖尿病対策など、健康のために必要なのは「歩く、走るなどの運動」と「食事」。とくしまマラソンは県民の健康につながっている、ということを確認していただきたい。	「とくしまマラソン」は、徳島ならではの魅力を全国に発信するとともに、本県のスポーツ振興や県民の健康づくりに寄与していると考えており、今後も「進化する大会」として、創意工夫を凝らし、魅力向上に努め、県民の健康増進につなげてまいります。	商工労働部

平成23年6月7日総合計画審議会 委員意見・質問への対応について
 <平成23年8月16日付総合計画審議会委員送付資料から抜粋>

御意見を踏まえ、今後の計画推進の参考とさせていただくもの

H23.8.16日時点

	該当ページ	意見要旨	対応内容	担当部局
8	下・P23, P80, P81	マラソンの他に、サイクリングの全国大会を(年に)1回開催するというのはどうか。サイクリングも県民の健康につながる。	健康志向の高まりから、いつでも誰でもが徳島の豊かな自然の中をサイクリングしていただけるよう、平成21年度から県内各地でサイクルスポーツ普及イベントを行っています。 ※下・P23「1-5 スポーツ王国とくしまづくり」において、サイクルスポーツ普及イベントの開催を目標として計画しています。	県民環境部
			次期行動計画では、徳島の自然環境を生かした吉野川沿いと海岸線を結ぶコース（Tライン）や、道の駅を起点としたサイクリングコースを設定し、身近で心地よく、利用しやすい環境づくりを行うこととしています。その中で、Tラインを利用したサイクルイベントの開催を目標としており、今後、学識経験者や自転車関係者等からなる「健康増進等に資する徳島自転車走行空間整備検討会議」において検討してまいります。	県土整備部
9	下・P118, P119	「少子化」について、高等学校への影響が危惧される。それに伴い、専門の教科(化学、地学、日本史、世界史など)を教える教員が確保できるのか。文部科学省の定員を適用した場合、大幅に減ることになるが大丈夫か。教員の質の確保が必要。	各学校において、理科・地歴等の専門教科を指導するためには、科目の開設状況に応じて一定数の教員配置が必要ですが、教科内の正規教員に加え、ティーチャーズバンクやマイスターバンク等を活用した専門科目教員を配置してまいります。また、「少子化」に伴う諸課題に対して定数措置が行われるよう、引き続き国に要望してまいります。	教育委員会
10	下・P22, P118, P119	「部活」についても、高校の統廃合が進んでいるが、大丈夫か。	統廃合の対象となった学校同士の合同チームについては、各大会への参加は認められています。指導者の確保や練習環境の整備を図るなど、参加しやすい環境づくりに努めてまいります。	教育委員会

平成23年6月7日総合計画審議会 委員意見・質問への対応について
 <平成23年8月16日付総合計画審議会委員送付資料から抜粋>

御意見を踏まえ、今後の計画推進の参考とさせていただきもの

H23.8.16日時点

	該当ページ	意見要旨	対応内容	担当部局
11	下・P22, P118, P119	野球・サッカー・ラグビー等、人数が必要な種目で、少子化が進むとどうしてもできない学校が出てくる。甲子園や花園に出ていくチームができるのか。私立は強いが、公立では少ない。例えば、地域単位でチーム編成ができるようにするなど、国に働きかけていただきたい。	<p>県出身者が全国大会等で活躍できるよう、ジュニアからの「一貫指導システム」の構築を支援しています。その中で、学校だけの枠にとらわれず、総合型地域スポーツクラブ等にも競技力向上の機能を持たせるなど、中長期的な継続的支援を行っています。</p> <p>※下・P22「1-5スポーツ王国とくしまづくり」において、国民体育大会天皇杯順位の30位台を目標として計画しています。</p> <p>中学校では、平成15年度より、県・四国・全国中学校体育大会において、人数が足りずチーム編成ができない場合、学校長の判断により、近隣の学校と合同チームを編成し、大会に出場することが可能となっています。（現段階では、団体競技7競技に限られています。）</p> <p>高等学校では、県大会においては複数校合同チームの出場が、大会によっては認められていますが、全国大会につながる大会の予選においては、出場できないのが現状です。今後、高等学校体育連盟を通じ、合同チームの大会出場の実現に向けて働きかけてまいります。</p>	<p>県民環境部</p> <p>教育委員会</p>

平成23年6月7日総合計画審議会 委員意見・質問への対応について
 <平成23年8月16日付総合計画審議会委員送付資料から抜粋>

御意見を踏まえ、今後の計画推進の参考とさせていただくもの

H23.8.16日時点

	該当ページ	意見要旨	対応内容	担当部局
12	下・P121, P122	「子どもの運動」について、究極の介護予防は、元気な子どもたちを育てること。その意味では、徳島はすでに赤信号が出ている。子どもたちが運動していない。学校にも、親が車で送っていく。健康な次の世代を作っていくことを、親も含めて認識しないとイケない。また、子どもたちが安心して歩いて登校できるような通学路の確保をお願いしたい。	通学路等の歩道整備は、「3-1-10交通安全施設の整備」の中で位置づけており、自転車や歩行者の方々が、安全で安心な通行が確保できるよう、整備の推進に努めてまいります。 子どもの体力向上アクションプランを策定し、学校・家庭・地域が連携して運動習慣や生活習慣の形成に取り組んでいきます。 全小学校区で、約1万名の学校安全ボランティア(スクールガード)が、子どもたちが安全な登下校をできるよう見回り活動を実施しています。引き続きこの取組みを継続し、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちの安全・安心を確保してまいります。	県土整備部 教育委員会
13	下・P17, P18	写楽の検証など、「文化的価値のあるとくしま」を作ってほしい。	写楽は阿波藩の能役者斎藤十郎兵衛との説が有力になっていますが、謎の部分が多く、専門家の研究が続いています。写楽の検証については、今後の専門家の研究を注視してまいります。	教育委員会
14	下・P18	「萬の民の阿波おどり」について、「秋の阿波おどり」とネーミングがつけられるようなものにしていただきたい。どのような形のものになるのか。	「萬の民の阿波おどり」フェスティバルは、平成23年11月23日(水・祝)にアスティとくしまで開催し、阿波おどりの歴史と文化を再発見するとともに、その奥深い魅力を感じていただけるような内容を計画中です。有料公演(多目的ホール)では、「萬の民の阿波おどり」と題したオリジナルミュージカルの中で、「江戸時代の市中でおこなわれた組踊り」や有名連が披露する「進化し続ける現在の阿波おどり」などを表現します。また、無料ブースでは、阿波おどりの歴史に関する展示、にぎわいづくりブースでは「徳島ならではの」食、観光及び物産などの販売・展示を行う予定です。	県民環境部

平成23年6月7日総合計画審議会 委員意見・質問への対応について
 <平成23年8月16日付総合計画審議会委員送付資料から抜粋>

御意見を踏まえ、今後の計画推進の参考とさせていただくもの

H23.8.16日時点

	該当ページ	意見要旨	対応内容	担当部局
15	下・P29	「農商工連携学部(仮称)」の創設について、本当に大変なことだと思うが、頑張って作っていただきたい。	今後様々な検討調整を進め、「農商工連携学部(仮称)」を設置できるよう挑戦してまいります。	企画総務部 農林水産部
16	上・P5, P36, P39	「人口の置換水準」について、人口減が緩やかにならないしは止まっているという表現が端々に出ているが、提案としては、国の統計で減っているものを止める、という考え方から、減少幅を抑えるとか80万人に戻すなど、10年後の数値目標等についても、中期プランの中でチャレンジ目標として設定してはどうか。	「10年後の人口目標の設定」については、中期プラン素案作成過程の総合計画審議会未来創造部会において御議論をいただきました。その結果、基本目標7「宝の島・創造とくしま」の重点戦略3「活力みなぎるとくしまづくり」中期プラン編において、「人口減少社会に挑戦する個性豊かな地域社会」を目指すべき10年程度の姿として設定することとし、とりまとめをしております。今後においては、ご指摘の点も踏まえ、こうした視点で施策を推進してまいります。	企画総務部
17	上・P87, P115	「林業再生プラン」について、県産材利用倍増など掲げられているが、現在は間伐が中心となっている。生産量を増やすには、皆伐をして植え付けるというサイクルが必要だが、植え付けるのにはコストがかかる。伐採して植える、という林業のサイクルが崩れてきている。コスト面については、所有者も費用を出すとか、方策を考えないといけない。作業している人も高齢であり、機械を使った間伐はできない人もおり、仕事がないと言われる。林業のサイクルを取り戻すような仕組みの構築をお願いしたい。	次世代林業プロジェクトでは、県産材の生産量・消費量を倍増するため、間伐のみならず皆伐も視野に入れた生産システムの構築に取り組むとともに、皆伐後の確実な更新(植林)対策として、木材利用者側の負担のあり方の検討や県民や企業の協力による森林所有者の負担を軽減する社会的仕組みの構築に向けた取組を行っていくこととしています。	農林水産部